

## 1 はじめに

サポート部は、「ボランティアによるボランティアへのサポート」という、全国でも珍しい、新しい取り組みを行っている部会です。

活動は、各ボランティア部会の活動を支援し、来館者様の「来館満足度アップ」を目指すものです。

活動内容は、「広報紙の発行」・「館内外交流」・「他部会活動支援」・「来館者とのワークショップ」の4つを柱としています。

## 2 部会活動について

### 【ボランティア広報紙の発行】

広報紙は2008年9月に第1号を発行しています。3期の活動が始まってからは年4回の発行を目指し、2011年8月の第12号から名前を「東風（こち）」とし、2014年3月の第22号まで発行しました。ボランティア間のコミュニケーションツールとして、各部会の活動報告、九博からの情報提供などを掲載し、ボランティア相互の理解を深めることを目的としています。取材活動、原稿収集、編集、レイアウト、校閲、印刷、配布までを一貫して行っています。紙面を見やすくするために、文章を縦書きにし、文字の大きさ、文字数、紙面割なども工夫しました。



広報紙「東風（こち）」

また定期的に編集委員会を開き、他部会からも参加してもらい、記事を寄稿してもらうことで、多くの意見を紙面に反映するようにしました。

広報紙作成を通じて、いろんな事を経験し、たくさんの人と出会うことで、新しい発見、自己の成長を得ることができました。

### 【館内外のボランティアとの交流】

交流活動は、「交流を通してのボランティア活動の向上」「楽しく活動ができること」を目標としました。活動内容は「館内交流」と「館外交流」の2つがあります。



車いす研修風景

## (1) 館内交流

他部会の活動を学び、交流を深めるため、各部会の「館内留学」・交流課主催「館内研修」・「グループ活動」などに、個々で参加しました。

2012年・2013年には、交流課との共催「九博ボランティア合同忘年会」を企画運営しました。活動内容は、下記の通りです。

- ① 展示解説部会による「文化交流展示室」解説研修（館内留学）
- ② 環境部会「インジケーター交換」体験研修（館内留学）
- ③ 教育普及部会の布絵本「うもれぎくん」作成及び取材
- ④ 「防災訓練避難経路研修」（交流課）
- ⑤ 「車椅子・聴覚障害者研修」（交流課）
- ⑥ 手話部会「部内研修」のサポート
- ⑦ 「古文書講座」
- ⑧ 「子どもにわか」・「にわか半面づくり」（グループ活動）



2013年忘年会

## (2) 館外交流

他館の「ボランティア活動を行っている団体」との交流で、「熊本市現代美術館」・「長崎県立美術館」・「伊都国歴史博物館」・「壱岐市一支国博物館」・「大分市美術館」「熊本城、城彩苑」など多くの実績を積むことができました。

特に、「大分市美術館」との交流では、「エコバック」をはじめとする「ワークショップ」運営に、大きな触発を受けました。

「エコバック」は、「大分市美術館」から作成資料の提供を頂くことにより、「九博ワークショップ」として取り組むことができました。さらに、<きゅーはくキャラバン>では、「壱岐市一支国博物館」へ「エコバック作成」を紹介するなど、交流における大きな成果となりました。

これからも、積極的に外部との交流、ネットワークの拡大構築を図り、視野を広げると共に、そこで得たものが、さらなる架け橋となるよう繋げたいと思います。



大分市美術館 交流会



伊都国歴史博物館 来館交流会

### 【他部会の活動支援】

「他部会ボランティア活動」の支援と協力を通じ、ボランティア同士の交流、および「九博ボランティア活動」の質の向上を目指し、活動支援を行ってきました。

また、九州国立博物館との共催による各種イベント等の活動支援にも取り組んでおります。

これまで、四季を通して、「イベントの活動」の支援をしてきました。支援した「イベントの活動」は、下記の通りです。



- 春 「昭和の日」(夕顔の会)
- 夏 「七夕」・「まほろばコンサート」
- 秋 「古都の光」
- 冬 「餅つき・書初め」・「九博子どもフェスタ」

「九博子どもフェスタ」では、場内案内パンフレットを作成し、会場の受付を担当。当日は、「九州国立博物館を愛する会」の方々と連携して、アンケートの回収を支援しました。

太宰府市民吹奏楽団との共催「まほろばコンサート」では、前日のプログラムの配布準備と会場設営等(他部会含む)の支援を行い、当日は、受付・場内案内・撤収(他部会含む)を担当しました。また、平成25年10月には、「来館者1000万人記念イベント」として開催された「きゅーはくまつり」への対応も同様に行いました。

今後も、更なる他部会との交流などの幅広い活動支援を行い、ボランティア全体のスキルアップにより、来館者満足度向上を目指し取り組んでいきます。



九博子どもフェスタ



まほろばコンサート



古都の光



七夕まつり

その他、「支援活動」の一環としてボランティアルームの「環境整備」や「蔵書・DVD」の管理・保管、「パソコン取扱説明書」の作成を行いました。ボランティアルームで保有している蔵書を書名、冊数、著者、出版元、日本十進分類法に基づいて分類し、その他の備考[内容に関する事項(外国語表記など)、傷み具合など]記録・整理、この成果は広報紙「東風」内の図書紹介コーナー「おすすめライブラリー」にて紹介しました。

DVDは視聴用テレビモニタの配置を変更して利用しやすさの改善を図り、九博が取り上げられたテレビ番組などを追加しライブラリーの充実を図りました。

さらに、一時途絶えていた「九博関連新聞記事」のスクラップを広報課・交流課のご協力のもと、昨年より再開することができました。



ボランティアルーム



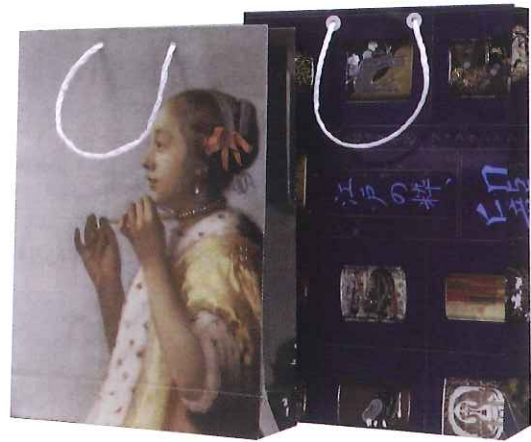
### 【来館者とのワークショップ】

サポート部の新しい活動の柱として、掲示期間の過ぎた展覧会ポスターを使った「アートエコバッグづくり」を、「九博子どもフェスタ」「きゅーはくキャラバン」などで、ワークショップとして実施しました。

これまでは一定期間が過ぎれば廃棄されていたポスターですが、エコバッグに再生されることでゴミの発生抑制にもつながり、九博のエコ活動の一環としても意義あるものと位置付けられます。

また、新しく4期ボランティアを迎えるにあたっては、「歓迎のおもてなし」として250枚のエコバッグ作成を企画。他部会のご協力を頂き、無事その数を達成することができました。

今後は、ワークショップのプログラムをさらに増やし、来館者が「また九博にきたい」と思っただけのような活動にしていきたいと考えています。



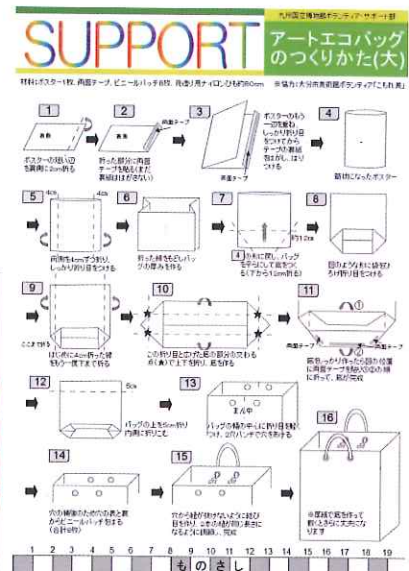
アートエコバッグ



アートエコバッグ作成風景



子どもフェスタワークショップ風景



アートエコバッグの作り方

### 3 おわりに

「何がやりたいかを体現する」部会であり、「やりたいことが見つかる」部会であるサポート部は、「九州国立博物館のボランティア」をはじめ、「他館のボランティア」の皆さんのご協力と、ご指導により、とても「バラエティに富んだ」活動ができました。

これからも、色々な「企画や交流」を行い、博物館10周年記念を迎えるべく、「さらなる活動が広がる」部会として、推進してまいります。

